

第5回教育研究審議会

議事概要

開催日：平成24年6月13日（水）

場 所：本部棟3階大会議室

出席者：加藤祐三学長、高田理孝副学長、福田誠治副学長、椎廣行事務局長、大平栄子学長補佐
清水雅彦学長補佐、田中昌弥学長補佐、阿毛久芳大学院研究科委員長、鶴田清司初等教育学科長
新保祐司国文学科長、儀部直樹英文学科長、進藤兵社会学科長、大辻千恵子比較文化学科長
杉本光司地域交流研究センター長、稲垣孝博外国語教育研究センター長、小林正人学生課長
重原達也総務課長

欠席者：田中一利理事

■挨拶

加藤祐三学長よりあいさつ

議 事

(1) 公立大学法人都留文科大学 平成23年度実績及び平成24年度年年度計画（案）について

- 担当より資料1-1、1-2に基づき赤字の修正箇所について説明、審議の結果、提案通り承認。
・設置団体である都留市へ修正案通り提出する。

(2) 韓国外国語大学校との交換留学協定の締結について

- 担当より、資料2に基づき説明、審議の結果、提案通り承認。
・韓国外国語大学校は、ソウルと龍江という地の利の良い場所に二つのキャンパスを構えている。都留文科大学の学生は、ソウルキャンパスに通うことになる。
・本学からの派遣は、韓国語学習歴が1年以上と派遣するのにあたり本学にとっては派遣しやすい条件となっている。また、韓国からの学生は日本語能力検定1級以上と条件も厳しく、日本語ができる学生が派遣されてくるため、韓国からの学生は本学で専門的な科目を学びたいとの要望がある。

(3) 2013年度教員配置計画への要望について（案）

- 担当より資料3に基づき説明、審議の結果、学科へ議題を持ち帰り再度検討し次回の教育研究審議会にて再提出。
・社会学科では、「地域社会学」を第1優先、「人文地理学」を第2優先としているが、教職免許課程のうち中学校社会・高校地理については「地理学」専任教員の配置が求められているので、こちらを優先すべきではないか。また、環コミの教員が学外研究に出ることになっているが、学科運営を考えたら学外研究へ出てもらうのを数年待ってもらうなどの処置を検討した上で、この要望が出てくるべきではないか。「若いうちに学外へ出て研究をしてほしい」という理由で学外へ出ることを保障したいのであれば、そのように記述しておくべきではないか。
・環コミの教員が2名退職するにあたり学科の対策として、専門科目を受け持ってもらおうとあるが、

専門科目ではなくゼミを引き続き受け持ってもらった方が良いのではないか。また、環コミ専攻会議から要望があれば、特別顧問的な立場から専攻会議に出席してもらい助言や補佐をしてもうとあるが、今までの制度が崩れてしまうので行うべきではないと思う。

(4) 平成 24 年度各教員選考委員会委員について

○担当より資料 4 に基づき説明、審議の結果、各委員については次回の教育研究審議会にて報告。

初等教育学科（算数）：国文学科、比較文化学科

国文学科（近世）：初等教育学科、英文学科

英文学科（英文学）：初等教育学科、社会学科

社会学科（地方自治論）：国文学科、英文学科

(5) 大学改革実行プランについて

○担当より資料 5 に基づき説明、資料の論点整理を行い次回の教育研究審議会にて提出。